

書写 評価基準 1年（光村図書）

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
4月	しょしゃの やくそく [教科書 巻頭] ◎書写学習の前に、机上の整理、書くための準備運動、姿勢・筆記具の持ち方を確かめる一連の流れを行うことができる。[知技(3)ウ(ア)]	適宜	1 書写学習の前に行う三つの確認事項(机上の整理、書くための準備運動、姿勢・筆記具の持ち方を確かめる)を知る。 2 以後、書写の時間の前に一連の流れを適宜実践することを知る。	【態】 進んで①書写学習の前の確認事項を理解し③、学習課題に沿って②机上の整理、書くための準備運動、姿勢・筆記具の持ち方を確かめる一連の流れを実践しようとしている④。
	しょしゃ すたーと ぶっく じぶんの なまえを かこう／もじ たんけんたい [教科書P1-3] ◎自分の名前を書いたり、校内にある文字を探したりすることで、書写学習に対する関心を高めることができる。[知技(3)ウ(イ)]	2～3	1 P42-43「ひらがな あつまれ」の平仮名の五十音表から、自分の名前の文字を探して印を付ける。 2 印をつけた文字を、声に出しながら指でなぞる。 3 P1に自分の名前を書く。 4 校内の文字を探す「文字探険」を行い、見つけたものをグループで発表する。	【態】 進んで①自分の名前の文字や校内にある文字に関心をもち③、学習課題に沿って②自分の名前を書いたり、校内にあるさまざまな文字を探したりしようとしている④。
	しょしゃ たいそう [教科書P4-5] ◎書写体操を行うことができる。[知技(3)ウ(ア)]		1 書写体操が姿勢や筆記具の持ち方を正しくするための準備運動であることを知る。 2 P4-5の絵を見て、書写体操の四つの動きを理解し、力を入れるところに気をつけながら、書写体操を行う。 3 書写の時間の最後に行う整理体操について知る。 4 以後の書写の時間に適宜行うことを知る。	【態】 進んで①書写体操の四つの動きを理解し③、学習課題に沿って②書写体操を行おうとしている④。
	じを かく しせい [教科書P6-7] ◎文字を書くときの姿勢を正しくすることができる。[知技(3)ウ(ア)]		1 P6-7の写真を見て、文字を書くときの正しい姿勢を知る。 2 唱え歌「あしは べったん せなかは びん…」に合わせて姿勢を確かめ、以後の書写の時間に適宜行うことを知る。 3 P7の写真を見て、タブレット端末を使う際の正しい姿勢を知る。	【知】 文字を書くときの姿勢を正しくしている。 【思】 唱え歌に合わせて、文字を書くときの姿勢を確かめている。 【態】 積極的に①文字を書くときの姿勢を理解し③、書写学習の見通しをもって②姿勢を正しくしようとしている④。
	えんぴつの もちかた [教科書P8-9] ◎筆記具の持ち方を正しくして書くことができる。[知技(3)ウ(ア)]		1 P8-9の写真や唱え歌「えんぴつ つまんで…」を見て、鉛筆の持ち方を理解する。 2 P9の下絵を見て手の置き方を知る。 3 実際に2の絵の上に手を置いて、丸枠内の絵と比べ、正しい鉛筆の持ち方ができているか確認する。	【知】 筆記具の持ち方を正しくして書いている。 【思】 唱え歌に合わせて、筆記具の正しい持ち方を確かめている。 【態】 積極的に①筆記具の正しい持ち方を理解し③、学習課題に沿って②筆記具の持ち方を正しくしようとしている④。
	いろいろな せんを かこう [教科書P10-11] ◎正しい姿勢と筆記具の持ち方で、いろいろな線を書くことができる。[知技(3)ウ(イ)]		1 文字を書くときの正しい姿勢と鉛筆の持ち方で、P10-11のいろいろな線を書く。	【知】 文字を書くときの姿勢と筆記具の持ち方を正しくして書いている。 【思】 いろいろな線を書きながら、文字を書くときの正しい姿勢と筆記具の持ち方を確かめている。 【態】 積極的に①文字を書くときの正しい姿勢と筆記具の持ち方を理解し③、学習課題に沿って②いろいろな線を書こうとしている④。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
5月	ひらがな			
	「とめ」と「はらい」 〔教科書P12-13〕 ◎点画の書き方（止め・払い）に注意しながら、丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ、(3)ウ(イ)〕	2	1 「く」を指でなぞり、止めの書き方を理解する。 2 止めの書き方に気をつけて、止めをもつ線や「く」を鉛筆でなぞってから書く。 3 「つ」を指でなぞり、払いの書き方を理解する。 4 払いの書き方に気をつけて、払いをもつ線や「つ」を鉛筆でなぞってから書く。	【知】点画の書き方（止め・払い）に注意しながら、丁寧に書いている。 【思】「く」「つ」をなぞったり書いたりするなかで、点画の書き方（止め・払い）を確かめている。 【態】進んで(①)点画の書き方（止め・払い）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「く」「つ」をなぞったり書いたりしようとしている(④)。
	「はね」〔教科書P14〕 ◎点画の書き方（はね）に注意しながら、丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ、(3)ウ(イ)〕	2	1 「か」を指でなぞり、はねの書き方を理解する。 2 はねの書き方に気をつけて、はねをもつ線や「か」を鉛筆でなぞってから書く。	【知】点画の書き方（はね）に注意しながら、丁寧に書いている。 【思】「か」をなぞったり書いたりするなかで、点画の書き方（はね）を確かめている。 【態】進んで(①)点画の書き方（はね）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「か」をなぞったり書いたりしようとしている(④)。
6月	かきじゅん〔教科書P15〕 ◎筆順に従って丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ、(3)ウ(イ)〕		1 筆順番号を確認しながら「こい」を指でなぞり、平仮名には「書き順」があることを知る。 2 筆順に従って、「こ」「い」を鉛筆でなぞってから書く。	【知】筆順に従って丁寧に書いている。 【思】「こ」「い」をなぞったり書いたりするなかで、筆順を確かめている。 【態】進んで(①)筆順に気をつけ(③)、学習課題に沿って(②)「こ」「い」をなぞったり書いたりしようとしている(④)。
	「まがり」と「おれ」 〔教科書P16-17〕 ◎点画の書き方（曲がり・折れ）に注意しながら、丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ、(3)ウ(イ)〕	2	1 「の」を指でなぞり、曲がりの書き方を知る。 2 曲がりの書き方に気をつけて、曲がりをもつ線や「の」を鉛筆でなぞってから書く。 3 「そ」を指でなぞり、折れの書き方を知る。 4 折れや折り返しの書き方に気をつけて、折れをもつ線や「そ」を鉛筆でなぞってから書く。	【知】点画の書き方（曲がり・折れ）に注意しながら、丁寧に書いている。 【思】「の」「そ」をなぞったり書いたりするなかで、点画の書き方（曲がり・折れ）を確かめている。 【態】進んで(①)点画の書き方（曲がり・折れ）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「の」「そ」をなぞったり書いたりしようとしている(④)。
	「むすび」〔教科書P18〕 ◎点画の書き方（結び）に注意しながら、丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ、(3)ウ(イ)〕	2	1 「ます」の赤い線を指でなぞり、横長の結びと縦長の結びの書き方と形の違いを知る。 2 結びの書き方に気をつけて、結びをもつ線や「ます」を鉛筆でなぞる。	【知】点画の書き方（結び）に注意しながら、丁寧に書いている。 【思】「ます」をなぞるなかで、点画の書き方（結び）を確かめている。 【態】進んで(①)点画の書き方（結び）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「ます」をなぞろうとしている(④)。
7月	じの かたち〔教科書P19〕 ◎文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ、(3)ウ(イ)〕		1 「に・も・つ」の文字と絵を比べて、文字には真四角・縦長四角・横長四角などのおおよその形（外形）があることを理解する。 2 「お・に・く・も・へ・い」の外形を意識して、鉛筆でなぞる。	【知】文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】「お・に・く・も・へ・い」をなぞるなかで、文字の形を確かめている。 【態】進んで(①)文字の形に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「お・に・く・も・へ・い」をなぞろうとしている(④)。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
	ことば [教科書P20-21] ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)]	1	1 P20-21の書き文字の中から、止め・払い・はね・曲がり・折れ・結びの部分を見つけ、鉛筆で囲む。 2 促音を書く際の位置を知る。 3 これまでに学習した点画の書き方（止め・払い・はね・曲がり・折れ・結び）や文字の形、筆順に気をつけて、「くつ」「かっぱ」などの言葉を鉛筆でなぞる。	【知】 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】 「くつ」「かっぱ」などの言葉をなぞるなかで、点画の書き方や文字の形、筆順を確かめている。 【態】 進んで①点画の書き方や文字の形、筆順に気をつけ③、学習課題に沿って②「くつ」「かっぱ」などの言葉をなぞろうとしている④。
	しょしゃ ひろげたい① くくご [教科書P22-23] ◎点画の書き方や、ます目の用紙・罫線の用紙の書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)] ○語と語や文と文との続き方を確かめて書くことができる。 [B(1)ウ・エ、(2)ア・イ]	1	1 ます目の用紙と罫線の用紙それぞれの、文の書き始めや句読点などの書き方を知る。 2 好きなことを紹介する文を、姿勢や鉛筆の持ち方、平仮名の筆順や終筆・送筆の書き方に気をつけて、丁寧に書く。(または、P22-23の文例を視写する。)	【知】 点画の書き方や、ます目の用紙・罫線の用紙の書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】 好きなことを紹介する文を書くなかで、点画の書き方や、ます目の用紙・罫線の用紙の書き方を確かめている。 【態】 進んで①点画の書き方や、ます目の用紙・罫線の用紙の書き方に注意し③、学習課題に沿って②好きなことを紹介する文を書こうとしている④。
	しょしゃ ひろげたい② くせいかつ [教科書P24] ◎点画の書き方や文字の形、横書きの書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)] ○観察したことを記録する文章を書くことができる。[B(1)ウ・エ、(2)ア]	適宜	1 身の回りの文字やこれまでの学習のなかから、横書きで書かれたものを探す。 2 横書きで書くときの文の書き始めや句読点などの書き方、数字の書き方を知る。 3 横書きで観察日記を書く。(または、P24の文例を視写する。)	【知】 点画の書き方や文字の形、横書きの書き方、数字の書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】 横書きで観察日記を書くなかで、点画の書き方や文字の形、横書きの書き方を確かめている。 【態】 積極的に①点画の書き方や文字の形、横書きの書き方に注意し③、これまでの学習を生かして②横書きで観察日記を書こうとしている④。
	こんなことは ないかな [教科書P25] ◎点画の書き方や罫線の用紙の書き方に注意しながら、丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)]	適宜	1 P25の△の例の書き方を見て、どうすれば改善されるかを友達と話し合う。 2 P18で結びの書き方、P17で折れの書き方、P23で罫線の用紙の書き方を確かめる。 3 間違えやすいポイントに気をつけて、△の例を書き直す。	【知】 点画の書き方や罫線の用紙の書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】 点画の書き方や罫線の用紙の書き方を確かめている。 【態】 進んで①点画の書き方や罫線の用紙の書き方を確かめ③、これまでの学習を生かして②間違えやすいポイントに気をつけて書こうとしている④。
9月	にて いる ひらがな [教科書P26] ◎文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)]	1～2	1 「ち-ら」「さ-き」をそれぞれ比べて、どこが違うかを話し合う。 2 「ね-れ-わ」「あ-め-ぬ」をそれぞれ比べて、どこが違うかを話し合う。 3 違いに気をつけて、「ね-れ-わ」「あ-め-ぬ」などの文字を鉛筆でなぞる。	【知】 文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】 「ね-れ-わ」「あ-め-ぬ」などをなぞるなかで、文字の形の違いを確かめている。 【態】 進んで①文字の形の違いに気をつけ③、学習課題に沿って②「ね-れ-わ」「あ-め-ぬ」などをなぞろうとしている④。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
	みずふでで かいて みよう [教科書P27] ◎点画の書き方（止め・はね・払い）に注意しながら書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)、内容の取扱い カ(エ)]	適宜	1 「線の太さが変わる」『はね』や『はらい』の書き方がよくわかる」など、水書用筆の特徴を知る。 2 水書用筆の使い方を理解する。 3 画の終筆（止め・はね・払い）に気をつけて、止め・はね・払いをもつ点画を繰り返し水書用筆で書く。	【知】点画の書き方（止め・はね・払い）に注意しながら、水書用筆で丁寧に書いている。 【思】〔水書用筆で書くなかで、点画の書き方（止め・はね・払い）を確かめている。〕 【態】進んで(1)点画の書き方（止め・はね・払い）に注意し(3)、学習課題に沿って(2)水書用筆で書こうとしている(4)。
	ひらがな あつまれ [教科書P42-43] ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)]	1	1 促音・拗音・濁点・半濁点・句読点の書き方を確かめる。 2 平仮名の五十音表を参考にしながら、点画の書き方、文字の形、筆順などに気をつけて、自分の名前を平仮名で書く。	【知】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】〔自分の名前を書くなかで、点画の書き方や文字の形、筆順を確かめている。〕 【態】進んで(1)点画の書き方や文字の形、筆順に気をつけ(3)、今までの学習を生かして(2)自分の名前を書こうとしている(4)。
10月	かたかな			
	かたかなの かきかた [教科書P28-29] ◎点画の書き方（終筆・送筆）に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)]	2	1 「パン」を指でなぞり、画の終筆（止め・払い）の書き方を確かめる。 2 「オ・ス・セ」を見て、画の終筆（はね）と、送筆（折れ・曲がり）の書き方を確かめる。 3 終筆・送筆の書き方に気をつけて、「ゼリー」「オレンジ」「スープ」「パン」を鉛筆でなぞる。	【知】点画の書き方（終筆・送筆）に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】〔「パン」「オ・ス・セ」をなぞったり見たりするなかで、点画の書き方（終筆・送筆）を確かめている。〕 【態】進んで(1)点画の書き方（終筆・送筆）に注意し(3)、学習課題に沿って(2)「ゼリー」「オレンジ」「スープ」「パン」をなぞろうとしている(4)。
	かたかな あつまれ [教科書P44-45] ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)]	1	1 促音・拗音・長音の書き方を確かめ、「サッカー」「ゴール」を鉛筆でなぞる。 2 片仮名の五十音表を参考にしながら、点画の書き方、文字の形、筆順などに気をつけて、自分の名前を片仮名で書く。	【知】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】〔片仮名で自分の名前を書くなかで、点画の書き方や文字の形、筆順を確かめている。〕 【態】進んで(1)点画の書き方や文字の形、筆順に気をつけ(3)、今までの学習を生かして(2)自分の名前を書こうとしている(4)。
11月	かん字			
	「とめ」「はね」「はらい」 [教科書P30-31] ◎点画の書き方（止め・はね・払い）に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)]	2	1 「小・大」を指でなぞり、漢字の画の終筆（止め・はね・払い）の書き方を理解する。 2 画の終筆（止め・はね・払い）に気をつけて、止め・はね・払いをもつ線や漢字を鉛筆でなぞる。	【知】点画の書き方（止め・はね・払い）に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】〔「小」「大」をなぞるなかで、点画の書き方（止め・はね・払い）を確かめている。〕 【態】進んで(1)点画の書き方（止め・はね・払い）に注意し(3)、学習課題に沿って(2)止め・はね・払いをもつ線や漢字をなぞろうとしている(4)。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
	「おれ」「まがり」「そり」 [教科書P32] ◎点画の書き方（折れ・曲がり・反り）に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)]	2	1 「日・七・子」を指でなぞり、漢字の画の送筆（折れ・曲がり・反り）の書き方を理解する。 2 画の送筆（折れ・曲がり・反り）に気を付けて、折れ・曲がり・反りをもつ線や漢字を鉛筆でなぞる。	【知】点画の書き方（折れ・曲がり・反り）に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【思】「日」「七」「子」をなぞるなかで、点画の書き方（折れ・曲がり・反り）を確かめている。 【態】進んで(①)点画の書き方（折れ・曲がり・反り）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)折れ・曲がり・反りをもつ線や漢字をなぞろうとしている(④)。
	かきじゅん [教科書P33] ◎筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)]	1	1 「三」と「川」を見て、「上から下へ」「左から右へ」という筆順の原則を理解する。 2 画の始筆・送筆・終筆の書き方を意識しながら、筆順の原則に従って、「三・二・空・テ」「川・人・八・ツ」を鉛筆でなぞる。	【知】筆順に従って丁寧に書いている。 【思】「三・二・空・テ」「川・人・八・ツ」を書くなかで、筆順とその原則を確かめている。 【態】進んで(①)筆順に気を付けながら(③)、学習課題に沿って(②)「三・二・空・テ」「川・人・八・ツ」をなぞろうとしている(④)。
12月	にて いる かん字と かたかな [教科書P34-35] ◎点画の長短や方向に注意しながら、文字を正しく書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	2～3	1 「三」と「ミ」を比べて、どこが違うかを話し合う。 2 「八・ハ」、「ソ・ツ・ン・シ」をそれぞれ比べて、どこが違うかを話し合う。 3 画の長さや向きに気を付けて、「八人」「ハム」「シーソー」「ツナサンド」を鉛筆でなぞる。	【知】点画の長短や方向に注意しながら、文字を正しく書いている。 【思】点画の長短や方向を確かめている。 【態】進んで(①)点画の長短や方向の違いに注意し(③)、今までの学習を生かして(②)「八人」「ハム」「シーソー」「ツナサンド」をなぞろうとしている(④)。
	字の かたち [教科書P36] ◎文字の形に注意しながら書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)]		1 「十・二・月」や絵を見て、漢字にも真四角・横長四角・縦長四角などのおおよその形（外形）があることを理解する。 2 文字の形に気を付けて、「十・二・月」をなぞってから書く。	【知】文字の形に注意しながら書いている。 【思】「十」「二」「月」を書くなかで、文字の形を確かめている。 【態】進んで(①)文字の形に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「十」「二」「月」を書こうとしている(④)。
	かん字 しらべたい [教科書P37] ◎漢字の成り立ちを知り、丁寧に書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)]	適宜	1 漢字がずっと昔にできたことを知る。 2 「日・山・川」の漢字の成り立ち（象形文字）を理解して丁寧に書く。	【知】「日」「山」「川」の成り立ちを知り、丁寧に書いている。 【思】「日」「山」「川」を丁寧に書きながら、その成り立ちを確かめている。 【態】進んで(①)「日」「山」「川」の成り立ちを理解し(③)、学習課題に沿って(②)丁寧に書こうとしている(④)。
1月	まとめ			
2月 3月	かきぞめ [教科書P38-39] ◎今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(ア)・(イ)・(ウ)]	6～8	1 書き初めとは何かを知る。 2 フェルトペンの持ち方を確認し、フェルトペンで「ふじ山」（「なかよし」）を書く。 3 今までに学習した知識・技能を振り返り、その生かし方を考えて、鉛筆で文章を書く。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】書き初めを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)書き初めを書こうとしている(④)。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
	一年生の まとめ [教科書P40~41] ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(ア)・(イ)・(ウ)] ○経験したことを報告する文章を書くことができる。[B(1)ウ・エ、(2)ア]		1 第1学年で学習した知識・技能（正しい姿勢と鉛筆の持ち方、終筆《止め・はね・払い》と送筆《曲がり・折れ・結び・反り》の書き方、筆順、文字の形）を確認する。 2 「一年生の思い出」を書くときに生かせることを考える。 3 今までに学習した知識・技能を生かして、鉛筆で一年生の思い出と自分の名前を書く。(または、P40の文例を視写する。) 4 P1で書いた自分の名前と比べて、どのような点が改善されたかを確かめる。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 「一年生の思い出」を書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 進んで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)「一年生の思い出」を書こうとしている(④)。
	空に 大きく かこう [教科書P48] ◎点画の書き方（止め・はね・払い）に注意しながら書くことができる。 [知技(1)エ、(3)ウ(イ)]	適宜	1 P30-31の学習と関連させて、漢字の画の終筆（止め・はね・払い）の書き方を確かめる。 2 腕を大きく動かして、画の終筆（止め・はね・払い）を意識しながら、「小」を空書きする。	【知】 点画の書き方（止め・はね・払い）に注意しながら、丁寧に空書きしている。 【思】 空書きをするなかで、点画の書き方（止め・はね・払い）を確かめている。 【態】 進んで(①)点画の書き方（止め・はね・払い）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)空書きしようとしている(④)。
適宜	しりょう			
	一年生で ならう かん字 [教科書P46~47] ◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	適宜	1 第1学年で学習する漢字の画の始筆・送筆・終筆の書き方、筆順の原則、文字の形などを適宜確かめる。	【知】 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。 【態】 進んで(①)点画の書き方や文字の形、筆順などに気をつけて(③)、今までの学習を生かして(②)丁寧に書こうとしている(④)。